

# 神はその独り子を私たちに与えられました

## ペンケレシ神父

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」(ヨハネ 3:16) 御子は父と聖霊とともに永遠・全能の神です。御父と共に宇宙万物を存在させ、万物はその力によって動いています。科学はその素晴らしさを示しています。138.2 億年前に宇宙が想像を超える密度と温度の、肉眼で見えない小さい玉で始まり、その中に宇宙全体の材料と設計が、すでに、入っており、最初に極度の速さで膨張し（ビッグバン）今の偉大さに達しました。その最初の急膨張の放射は測定されています。今度、原子以下の物質の構造を追求する量子学は、最小の粒子は“クアーク”と呼ばれ、各瞬間に現れる一つの力に起こされています。物質の世界は各瞬間に神に新たに造られています。これは科学が至った結論です。

イエスは人間性を身につけられた神の子ですから、この偉大な宇宙とその構造の最小の粒子を存在させ、動かし、働かせておられます。馬小屋に生まれた子は偉大な神なのです。

「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(3:16) アダムの子によって人間が失った永遠の命を与えるために、御子は父に遣わされました。そして貧しい馬小屋で、だれも知り合いのいないところで生まれました。このことは、地上での繁栄と栄誉を与えるのではないことを、身をもって示します。“永遠の命”を与えるために来られました。最大の賜物、皆が心の奥底から、望んでいるものを！大方の人は知らない、望めない唯一の残るもの、永遠の命を、無償で私たちに与えるために来られました。民に捨てられ、ひどい苦しみを受け、十字架の不名誉な死、という代価を払って人々に永遠の命を与えてくださいました。

ご降誕祭に明るく暖かい馬小屋が飾られ、夜の中に明るい聖堂で歌を歌って、帰ってからご馳走やクリスマスケーキを楽しんで、イエスの馬小屋の貧しさと寒さをどこまで心に留めていることができるでしょうか。だから、この日に、イエスの誕生の聖書箇所を幾たびも読み直して、その貧しさを今日の自分の毎日の生活にどのようにその精神を生きることができるかを、ゆっくり考えるべきです。また苦しんでいる人に会えば精神的にも物質的にも助けるために時間をつくり、特に日本と世界で彼らに援助する奉仕団体に献金することはできるのです。

**Merry Christmas** だけにとどまらず、信仰を新たに作る良いクリスマスとなりますように！